

第14次業種別審査事典 フォローアップレポート

業界分析資料の読み方②

「貿易統計」

品目別、国別の輸出入数量・金額の動きから業界の活動状況を知る

経済アナリスト 増井麻里子

1. 10月に入り輸入金額が増加

税関への輸出入の申告などを基にして作成され、財務省が公表している貿易統計は、マクロ経済統計指標としてだけでなく、海外出荷や原材料輸入のウエイトが大きい業種の活動状況をみるうえでも重要な資料である。

貿易統計の月次データは「上旬」、「上中旬」、「速報」、「確報」と4回に分けられており、それぞれ当該月末、翌月10日前後、翌月20日前後、翌月末に公表される。「速報」の段階で、主な品目や地域ごとのデータが掲載される。中でも輸出関連のデータは、「鉱工業生産」よりも10日程早く出ることもあり注目度が高い。

11月9日に公表された10月「上中旬」のデータを見ると、輸出金額が前年同期比△4.6%、輸入金額が△5.8%、差引金額が+15.9%であった。9月分の輸出金額が△4.9%、輸入金額が△17.4%、差引金額がマイナスからプラス転換であったことから、輸入金額の回復が鮮明となっている。「速報」が出るまで詳細はわからないが、為替水準は前年同期より円高であることから、価格要因よりも数量要因によって金額が増加したと推測できる。国内景気の回復を示しているといえそうだ。

図表1 貿易統計 (2020年9月確報・10月上中旬速報)

総額 (原値)		単位: 百万円、%		
	2020年9月確報	2019年9月確報	伸率	
輸出	6,055,109	6,368,996	△ 4.9	
輸入	5,366,298	6,498,069	△ 17.4	
差引	687,843	△ 129,073	—	

	令和2年10月上中旬	令和元年10月上中旬	伸率	
輸出	4,002,660	4,195,458	△ 4.6	
輸入	3,734,578	3,964,205	△ 5.8	
差引	268,082	231,253	15.9	

出所: 財務省データより筆者作成

2. 貿易統計のポイント

貿易統計は、財（モノ）の輸出入の動向を見るためのものであり、サービスは含まない。また、季節調整をしていない数字がメインとなっており、参考として公表されている季節調整値は、毎年算出方法が見直されている。

さらに注意すべき点として、貿易収支（輸出金額-輸入金額）を景気の判断材料とするのも正しくない。理由は、貿易収支が悪化しても、「国内景気が好調のため輸出以上に輸入が増えた」という場合があるからである。また、「輸出金額が増えた」ことは景気の判断材料となるが、「輸出数量が増えた」かどうかが重要である。したがって、「数量指数」を詳細データで確認する必要がある。

品目別に輸出数量指数の推移を見たい場合は、財務省Webサイトの「普通貿易統計-全国分-貿易指数表」からデータをダウンロードする (<https://www.customs.go.jp/toukei/info/tsdl.htm>)。

より細かい品目名で調べたい場合は、「普通貿易統計-全国の統計品目情報-統計品別推移表 (A-5)」で「統計品目番号」を指定してデータをダウンロードしなければならない (<https://www.customs.go.jp/toukei/search/futsu1.htm>)。

ただし、数量や金額は、指数ではなく品目によって決められた単位で表示される。数量単位は略号で示されるため、「用語の解説-5. 数量単位の略号」を参照する (<https://www.customs.go.jp/toukei/sankou/howto/yougo.htm#02>)。

「統計品目番号」とは、税関の申告に必要な9桁のコードのことである。6桁目までは、HS条約（商品の名称及び分類についての統一システムに関する国際条約：International Convention on the Harmonized Commodity Description and Coding System）に基づき、国際的に統一されている。

いくつかの「統計品」をまとめたものが「概況品」であり、一般的な名称が付けられている。業種別の動向を調べたい場合は、概況品データの方が便利だ。例えば「普通貿易統計-全国の概況品情報-概況品別推移表 (B-4)」から、「70131 半導体等製造装置」の10年分の輸出月次データをダウンロードすることが可能である。これを基にグラフを作成すれば、数量と金額の動向が確認できる（概況品によっては数量データが存在しないものもある）。

図表 2 半導体等製造装置の輸出データの取得方法

概況品別推移表 :条件入力

検索 リセット

※ 輸出入の指定（輸出または輸入のどちらかを指定してください）
 輸出 輸入

※ 推移表の種類指定（推移表の種類を選択してください。）
月別推移表

※ 複数年の指定（検索範囲の開始年と終了年をそれぞれ選択してください）
2010 年 ~ 2020 年

※ 全国分・税関別の指定（全国分、税関（管内合計）または税関別）
全国分

日本の全ての税関が対象になります。

※ 世界・国の指定（世界、地域別または国別を選択し、表示されます）
世界

世界の全ての国が対象になります。

※ 概況品の指定（概況品を数字8桁以内で必ず指定してください。コードは横の参照ボタンで選択することができます。）
70131 半導体等製造装置 参照

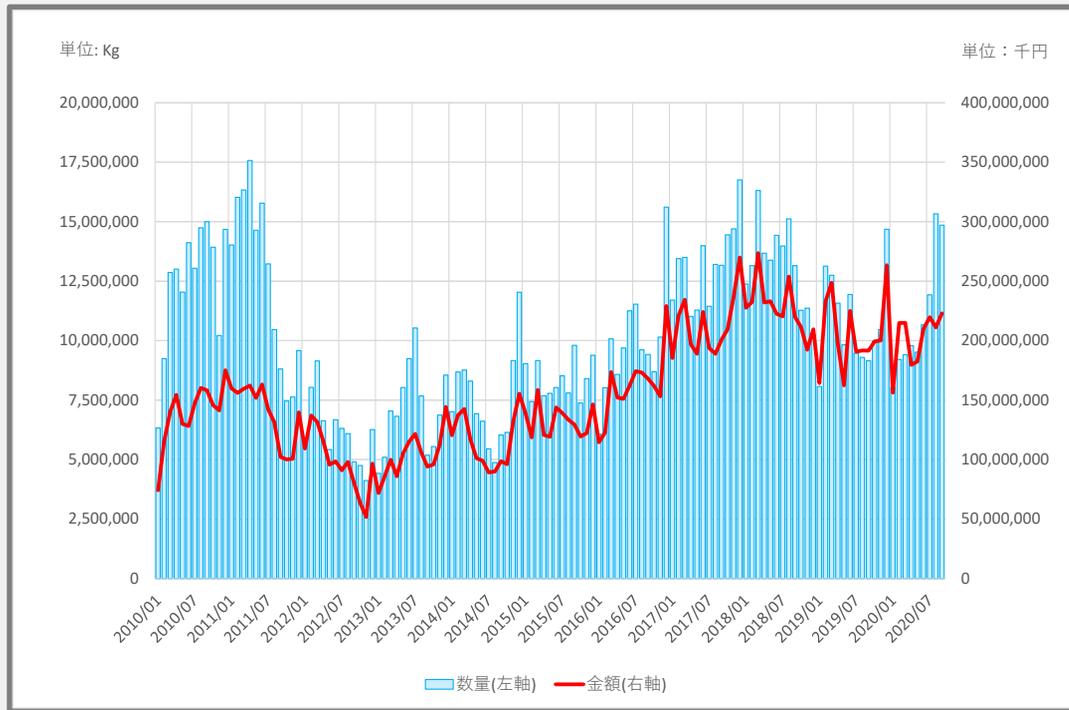
概況品参照ポップアップ - Google Chrome

輸出

70131	半導体等製造装置	決定	キャンセル
7012703	(リフト・エレベーター類)		
7012901	(ボールベアリング)		
7012903	(ローラーベアリング等)		
70131	半導体等製造装置		
7013101	(半導体製造装置)		
703	電気機器		
70301	重電機器		
7030101	(発電機)		

出所:財務省

図表3 半導体等製造装置の輸出動向 (2010年1月～2020年9月)



出所：財務省データより筆者作成

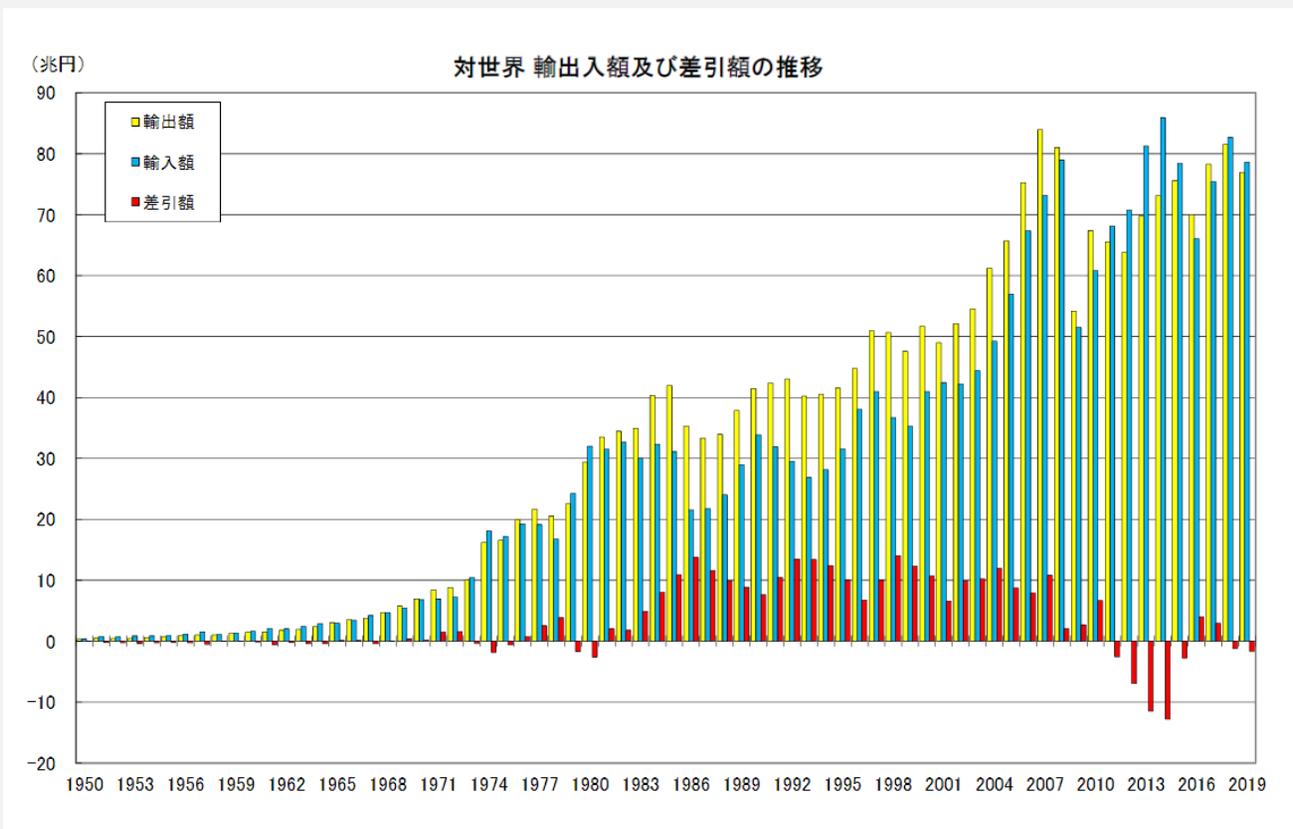
3. 日本にとっての貿易収支の意義

日本は高度成長期から基本的に貿易黒字国であった。しかしここ最近では、貿易赤字を出す年も多い。非資源国のため、資源価格の高騰時には貿易赤字を出しやすくなる。円高亢進も輸出数量を減らすため、赤字要因だ。貿易赤字は必ずしも悪いものではないが、日本のように経済成長率が低く、政府債務残高が多い国にとっては、あまり好ましくない。

経常収支 (貿易収支にサービス収支と利子・配当などの所得収支を加えたもの) が黒字であれば、政府部門が赤字でも民間部門が黒字なので、国内でファイナンスが完結できる。実際、政府債務の借入コストを長年低く抑制できているのはそのおかげだ。経常収支が赤字となれば、外国資本の流入が必要であり、それが止まれば欧州債務危機のように国債利回りが上昇するが、所得収支が恒常的に黒字の日本の場合、経常収支黒字も当面維持できるとみられ、財政危機が起こることは考えにくい。

しかし、将来的に預金封鎖などが絶対に起こらないとも言い切れない。日本にとって貿易収支は黒字の方が好ましく、グローバル競争が激しくなるにつれ、大型輸出企業の競争力を維持するための政策がとられるようになってきた。世界的な低金利が継続し、所得収支が小さくなれば、貿易収支に頼らざるをえなくなる。

図表4 貿易収支 (1950年～2019年)



出所：財務省

図表5 GDPを使った経常収支と財政収支の関係

支出面からみたGDP

$$GDP = C + I + G + (EX - IM) \dots (1)$$

(C:消費 I:投資 G:政府支出 EX:輸出 IM:輸入)

分配面からみたGDP

$$GDP = C + S + T \dots (2)$$

(C:消費 S:貯蓄 T:税金)

(1)、(2)より

$$C + I + G + (EX - IM) = C + S + T$$

$$(EX - IM) = (S - I) + (T - G)$$

(EX - IM:経常収支の黒字 S - I:貯蓄超過 T - G:財政収支の黒字)

注：簡潔に示すため所得収支は省略。

出所：筆者作成

4. 最近の動向

日本の輸出相手国については、2007年に中国が米国を逆転し、現在の構成比は中国が約20%、米国が約15%となっている。2020年度上半期(4月~9月)の輸出数量指数を見ると、対世界が△20.0%、対米国が△30.3%、対中国が+4.5%であり、中国の景気回復が鮮明である。

上半期の品目別輸出金額をみると、対米国では、自動車△35.3%、自動車の部分品△35.4%が響いている。対中国では、有機化合物が△36.0%となったものの、非鉄金属が+63.3%、半導体等製造装置が+12.4%、自動車が+12.1%であり、減少品目をカバーしている。

米国の医薬品メーカーが新型コロナウイルスのワクチン開発で成果を出し、11月第3週にも当局へ申請するとの報道が出た。しかし、当局が許可するまでには数カ月を要するとみられ、医薬品の輸出入が貿易収支に大きな影響を及ぼすのは来年度になるだろう。

世界全体としては新型コロナ感染拡大が収まらず、経済再開への動きを抑制せざるをえない状況だが、ワクチン浸透を見越して投資が活発になっていくとみられる。今後はテレワークなどのニューノーマルへの動きが後退し、半導体よりもエネルギー、素材セクターの取引が増える可能性が高いのではないだろうか。

図表6 輸出数量指数の伸び率(2015年度~2020年度上半期)

(単位:%)

	世界	米国	中国
2015年度	△ 2.7	△ 4.2	△ 2.7
2016年度	2.7	△ 0.9	4.7
2017年度	5.0	4.9	15.1
2018年度	△ 0.6	3.4	△ 2.5
2019年度	△ 4.4	△ 4.1	△ 6.2
2020年度上半期	△ 20.0	△ 30.3	4.5

注：現在の貿易指数は2015年=100で算出。

出所：財務省データより筆者作成

図表6 『第14次業種別審査事典』対象業種

1008果樹作農業	2050靴下製造業
1009柑橘類栽培	2051ストッキング製造業
1012イチゴ栽培	2054帽子製造業
1015ナン栽培	2056寝具類卸売業
1016モモ栽培	2057寝具製造業
1017アウトウ栽培	2059テントシート製造業
1018茶作農業	2060繊維製袋製造業
1020梅栽培・加工業	2064縫製業
1024養豚業	2071ブティック（衣料品専門店）
1027養羊業	2077製革業
1029養蚕業	2079毛皮製衣服製造・卸売業
1042種苗業	2080革靴製造業
1046ドライフルーツ製造・販売業	2084靴卸売業
1060かき類養殖業	2090かばん製造業
1062海苔養殖業	2091袋物製造業
1067マス類養殖業	2096事務用品製造業
1069鯉養殖業	2102造花製造・小売業
1070ウナギ養殖業	2103かつら製造・販売業
1072魚類（仲）卸売業	2105漆器製造業
1083辛子めんたいこ製造業	2107畳表製造業
1086かつお節製造業	2109農店
1096酵母剤製造業	2113ライター製造業
1097麴・種麴・麦芽製造業	2114線香製造業
1105野菜漬物製造・小売業	2118ろうそく製造業
1106豆腐・油揚げ製造業	2119ブラシ（刷子）製造業
1108納豆製造業	2120ボタン製造業
1116その他の精穀・製粉業	2122鏡製造業
1120ビスケット類・干菓子製造業	2135貴石・半貴石輸入業
1128果汁加工業	2137サンゴ加工業
1132焼酎製造業	3015バルブ製造業
1134ウイスキー製造業	3019板紙製造業
1138荒茶製造業	3024事務用・学用紙製品製造業
1141紅茶小売業	3032紙・紙製品卸売業
1142コーヒー製造業	3035アンモニア製造業
1147フラワー産業	3036無機顔料製造業
1148花き作農業	3042塗料卸売業
1151洋ラン栽培	3047農業製造業
1158園芸店	3050接着剤製造業
1162複合肥料製造業	3051写真感光材料製造業
1165単体飼料製造業	3052火薬類製造業
2005化学繊維製造業	3061ガラスびん製造業
2007綿紡績業	3062理化学用・医療用ガラス器具製造業
2008化学繊維紡績業	3063卓上用・厨房用ガラス器具製造業
2010麻紡績業	3064ガラス繊維・同製品製造業
2013毛織物業	3065ガラス器卸売業
2020製綿業	3080陶磁器製造業
2021繊維ロープ製造業	3081陶磁器卸売業
2022漁網製造業	3090研削砥石製造業
2023網地製造業	3091石製品製造業
2024レース製造業	3092墓石加工・販売業
2025組ひも製造業	3097舗装材料製造業
2027フェルト・不織布製造業	3101プラスチックフィルム・シート・床材・合成皮革製造業
2029アパレル産業	3104プラスチック成形材料・廃プラスチック製品製造業
2032婦人服製造・卸売業	3105プラスチック製日用雑貨・食卓用品製造業
2037中古衣料品ショップ	3113合成ゴム製造業
2044下着類製造業	3114ゴム製品製造業
2045デニム製品製造業	3116工業用ゴム製品製造業
2046婦人用下着類卸売業	3123太陽光パネル製造・販売業
2047婦人用下着類小売業	3135工業用ガス製造・販売業
2049スカーフ・マフラー・ハンカチーフ・ストール製造業	3138LNG販売業

出所：株式会社きんざい 出版部

図表7 『第14次業種別審査事典』対象業種（つづき）

4018 非鉄金属鋳物製造業（ダイカストを除く）	5094 液晶パネル・フラットパネル製造業
4024 金属洋食器製造業	5097 電子回路製造業
4025 利器工匠具・手道具製造業	5098 小型モーター製造業
4026 機械刃物製造業	5099 LED（発光ダイオード）製造業
4027 刃物卸売業	5105 工業計器製造業
4028 作業工具製造業	5122 眼鏡製造業
4029 農林業用打刃物製造業	5123 眼鏡小売業
4030 農業用器具製造業	5132 自動車用ホース製造業
4032 ガス・石油機器製造業	5143 自転車・同部品製造業
4038 コンテナ製造業	5144 自転車店
4048 放電加工業	5146 鉄道車両・部品製造業
4050 くぎ製造業	5157 輸送用機械器具卸売業
4051 ねじ製造業	5158 その他の輸送用機械器具（人力車・荷車等）製造業
4058 金属工作機械製造業	6013 船舶代理店
4059 NC旋盤製造業	6024 航空貨物運送業（エアカーゴ）
4060 マシニングセンタ製造業	6027 通関代行業（輸出入業務代行）
4063 機械工具製造業	6071 インテリア製品製造業
4065 レーザー加工機械製造業	6074 インテリア製品販売・施工業
4146 鉄スクラップ加工処理業	6078 インテリアショップ
4151 古紙卸売業	6087 木製家具製造業
5003 ポンプ製造業	6089 籐（とう）製品製造業
5005 油空圧機器製造業	6091 額縁製造業
5006 動力伝導装置製造業	6111 うなぎ専門店
5010 工業炉製造業	6112 とんかつ料理店
5015 ペアリング製造業	6115 かに料理店
5023 化学繊維機械・紡績機械製造業	6134 セルフサービス型カフェ
5024 製織機械・編組機械製造業	6140 アイスクリームショップ
5027 食品加工機械製造業	7105 ギター教室
5028 木材加工機械製造業	7125 フラワーアレンジメント教室
5029 印刷製版機械製造業	8015 化粧品製造業
5033 金型製造業	8016 仕上用・皮盾用化粧品製造業
5034 プラスチック成形機械製造業	8017 化粧品卸売業
5035 真空機器製造業	8018 化粧品小売業
5036 産業用ロボット製造業	8020 頭髮用化粧品製造業
5040 半導体製造装置製造業	8022 香りビジネス
5049 ゲームマシン（業務用）製造業	8023 医薬品製造業
5054 温度計製造業	9111 楽器製造業
5055 美容・健康機器製造業	9112 ピアノ製造業
5056 包装機械製造業	9118 美術商
5063 超硬工具製造業	9120 家庭用ゲーム機製造業
5064 金属加工機械卸売業	9132 観賞魚養殖・販売業
5073 電気炉・乾燥機製造業	9134 ペット流通業
5076 電球製造業	9136 ペットショップ
5077 蓄電池製造業	10033 中小商社
5078 一次電池（乾電池、湿電池）製造業	10041 中古建設機械器具取扱業
5079 太陽電池製造業	10058 絵画リース・レンタル業
5086 電子管製造業	10085 有線通信機械器具製造業
5087 抵抗器・コンデンサ等製造業	10095 コンピュータ周辺機器製造業
5091 半導体用シリコンウェーハ製造業	10096 記録メディア製造業
5093 ハイブリッドIC製造業	10104 ビデオ機器製造業

出所：株式会社きんざい 出版部